

令和2年度事業報告書

学校法人 緑ヶ岡学園

1. 法人の概要

(1) 法人の名称・所在地

法人の名称 : 学校法人緑ヶ岡学園
法人の所在地 : 北海道釧路市緑ヶ岡1丁目10番42号

(2) 設置する学校・学科等

釧路短期大学 生活科学科、幼児教育学科
北海道釧路市緑ヶ岡1丁目10番42号
武修館高等学校 全日制課程・普通科
北海道釧路市武佐5丁目9番1号
武修館中学校
北海道釧路市武佐5丁目9番1号
釧路短期大学附属幼稚園
北海道釧路市緑ヶ岡1丁目10番42号

(3) 入学定員、総定員、学生数の状況

(単位：人)

| 収 入 | | 入学定員 | 総定員 | 入学者数 | 総学生数 | 充 足 率 |
|-----------|--------|------|-----|------|------|--------|
| 短期大学 | 生活科学科 | 50 | 100 | 48 | 84 | 84.0 % |
| | 幼児教育学科 | 50 | 100 | 38 | 88 | 88.0 % |
| | 計 | 100 | 200 | 86 | 172 | 86.0 % |
| 武修館高等学校 | 普通科 | 140 | 420 | 121 | 362 | 86.2 % |
| 武修館中学校 | | 40 | 120 | 12 | 32 | 26.7 % |
| 短期大学附属幼稚園 | | | 75 | 21 | 73 | 97.3 % |
| 学 園 合 計 | | 280 | 815 | 240 | 639 | 78.4 % |

(4) 理事・監事・評議員・教職員の概要等

理 事 定数 7名～10名 現員 7名
監 事 定数 2名 現員 2名
評議員 定数 15名～22名 現員 16名
教職員

| | 専任教員 | 専任職員 | 兼務教員 | 兼務職員 | 計 |
|-----------|------|------|------|------|-------|
| 短期大学 | 17 人 | 14 人 | 38 人 | 2 人 | 71 人 |
| 武修館高等学校 | 26 人 | 8 人 | 25 人 | 4 人 | 63 人 |
| 武修館中学校 | 7 人 | 2 人 | 18 人 | 1 人 | 28 人 |
| 短期大学附属幼稚園 | 11 人 | | 4 人 | 4 人 | 19 人 |
| 学 園 合 計 | 61 人 | 24 人 | 85 人 | 11 人 | 181 人 |

2. 事業の概要

(1) 法人

経営強化推進計画の推進 (R元～R5)
短期大学、高等学校・中学校のLED化

(2) 釧路短期大学

釧路短期大学は、北海道東部地域の豊富な学習資源を基盤に、図書館司書・栄養士・

保育士・幼稚園教諭など専門的職業人を育成している。学生の8割以上が地元出身であり、教育理念の重要な柱に「地域貢献」を明示し、地域密着型教育の定着・拡充を進めている。令和元年9月には釧路短期大学・地域連携推進プログラムを策定し、これからの地域連携推進の目標と計画を定め、より一層地域に開かれた地域に求められる大学たるよう多様な事業を行った。なお、新型コロナウイルス感染及び感染拡大防止のため、いくつかの事業は中止・延期し、いくつかの事業は規模縮小や方法変更のうえで実施した。

1. 教育活動

- ①生活科学専攻において観光実務士養成カリキュラムがスタートした。
＜生活科学科生活科学専攻＞
- ②学内合同企業説明会、卒業生による就職講演会等の実施、さらにインターンシップ報告会における受け入れ企業のオンライン参加など徹底した感染対策のもとキャリア教育に力を入れた。
＜生活科学科生活科学専攻＞
- ③図書館司書に関する学修の成果を生かし、新型コロナ感染防止対策を徹底した上で、釧路市中央図書館と共催イベントを実施するなど地域貢献を展開した。
＜生活科学科生活科学専攻＞
- ④給食実務校外実習は新型コロナウイルスにより医療機関等の実習受け入れ困難の中、様々な調整を行い、栄養士免許希望者全員の実習を完遂した。新しい栄養士養成のためのモデル・コア・カリキュラムに沿った栄養士養成カリキュラムの見直しを計画していたが、メインの専門科目担当教員5名中2名が休職中のため止む無く次年度へ見送ることとなった。
＜生活科学科食物栄養専攻＞
- ⑤令和2年度は、新たな教職課程及び保育士養成課程の完成年度。保育各領域の指導法が加わり、演習要素が増えた。
- ⑥コロナウイルス感染症対策のため、4月中旬～5月末は、ZOOM配信授業を専任担当授業を中心に1日3～4講分を配信。比較的早く、配信授業に着手することができた。
- ⑦幼稚園実習(教育実習)、保育所実習(保育実習I・II)は実施できたが、施設実習(80時間)ではコロナウイルス対策を理由に、実習希望者48名中18名が受け入れられず、現場実習0時間とならないように、最低40時間以上の現場実習ができるよう調整した。不足分は1日単位の通所施設での実習、教員引率による施設訪問、施設実習担当教員、現場職員を招いての代替授業などで時間数を満たした。
- ⑧「第7回KJCランド～こどものあそびの日」(教員・学生共同企画・運営)。今回はコロナウイルス感染症対策のため、ZOOM配信によるリモート配信に切り替え、日程を遅らせ分散開催し、合計37組の参加を得た。例年に比し、参加組数は少なかったが、新たな形態での遊びの提供の試みとしては手ごたえがあった。＜幼児教育学科＞
- ⑨認定こども園法改正に伴う幼稚園免許状授与の所要資格の特例講座(現職保育士対象)を前年に続き開講した。
- ⑩全学あげて主体的な学習への転換と社会性伸長のため、学習環境整備をすすめた。
 - i) 教育課程を改正した(学科共通科目の「一般教育科目」を「共通教養科目」へ改編し、2021年度入学生より適用する準備を整えた)
 - ii) 新型コロナウイルス感染症対策への緊急対応(Zoom、Google Classroom活用)とOA機器を活用した教育研究の実践を拡大した
 - iii) ラーニング・コモンズの利用をすすめ、学生の主体的集団的な授業外学習の定着を図った
- ⑪FD・SD活動を行った。
 - i) FDは授業評価・研修(「ファシリテート」)を実施し、授業改善を進めた
 - ii) SDは研修(学生の成長支援「特別な支援を要する学生への対応」)を実施した
- ⑫初年次教育については情報収集をした。
- ⑬前2年度分の教育活動を中心に「令和元年度 釧路短期大学自己点検・評価報告書」をまとめ、年度末に発行した。なお、令和3年度は認証評価対象年度に該当する。

2. 地域共創型プロジェクト（第2次）の取組

- ①学生企画の地域連携事業として、「KJCランド～こどものあそびの日～」、「幼い子どもたちのためのクリスマスコンサート」などを実施した。
- ②管内高等学校へ「高校生のための出前講座」を実施（4件）した。
- ③釧路市との連携協力に関する協定に基づき、連携協力事業を継続し、定期協議を実施し確認した。
- ④地産地消の推進をするための連携組織（くしろ地産地消ネットワーク）に参加した。

3. 学生支援体制の整備

- ①ハローワークくしろによる就職サポートルームを毎週1回、学生相談室に置き、学卒ジョブサポーターによる就職相談、求人紹介、面接指導等を継続するとともに、互いの情報交換や連携を密にし、学生の早期就職内定の向上を図った。
- ②全求職者のハローワーク求人登録を推進し、卒業後の支援強化を短大と連携し、強化した。
- ③就職委員だけではなく、ゼミナール担当教員などによる就職サポートの協力強化要請を深めるため、学科内での就職活動情報を積極的に共有し合い、学生の就活支援に繋げた。
- ④ジョブカフェ北海道、ハローワークによる就活セミナーのほか、電話応対、就職メイク講習、卒業生による就職講演会、学内合同企業説明会等を開催した。
- ⑤卒業時に就職支援に関するアンケート調査を実施（7年目）し、この結果を踏まえ今年度の就職ガイダンスの内容の改善を図った。
- ⑥求人票に最新求人のマークや役立つ情報を追記し、学生が活用しやすいよう整備した。
- ⑦学生の相談体制を継続（健康調査により事前に傾向を把握、支援の早期化を検討）した。
- ⑧学生による環境整備活動「釧短キャンパス環境ネットワーク」（任意登録）により、主体的に学ぶ環境づくりを推進（校地内・町内清掃ほか実施）した。
- ⑨ワークスタディ学習奨励金制度により、2名の学生が学内業務に従事した。
- ⑩ピア・サポートを実施し、学生相互の成長と交流を図った。
- ⑪同窓会奨学基金制度による修学資金給付を実施（導入6年目、奨学生1名）した。
- ⑫学生研修講座を開催（「自分の体を知ろう」、「若者のための消費生活講座」「年金セミナー」「法テラス」）した。
- ⑬初年次教育プログラムの一環、司書による文献探索講座等を実施（4回）した。
- ⑭英語の苦手を克服する「英語補習授業」を継続実施（8年目）した。
- ⑮社会人のキャリア形成支援となる「専門実践教育訓練講座」（厚生労働省）を申請した。（幼児教育学科「保育士専門実践教育訓練講座」）

4. 附属図書館・生涯教育センター

- ①図書館蔵書管理システムおよび蔵書検索システムを継続して運用した。
- ②令和2年度の図書館利用状況 蔵書冊数－46,683冊 入館者数－13,092人
貸出冊数 学生－2,950冊 教職員－1,296冊 学外者－391冊 合計4,637冊
学生一人あたりの年間貸出冊数－17.3冊
タブレットPCの館内貸出－61件
- ③司書による文献探索講座等を実施（4回）した。
- ④ライティング支援機能について、学生、教職員に向けての広報の充実を図った。
- ⑤「道東文化塾2020」は新型コロナウイルスの感染防止のため、佐藤センター長がFMくしろ「釧路歴史探訪」で22回にわたり放送。印刷教材を受講者へ発送した。（登録者数34名）
- ⑥9月21日～9月25日の期間で館内照明のLED化工事を行った。
- ⑦新型コロナウイルスの感染予防として、カウンターにビニールカーテンを設置、また図書館入口と閲覧室内の数カ所に消毒用ハンドジェル設置などの対策を行った。

- ⑧学生の学習支援、教職員の研究・教育・地域貢献の支援、利用しやすい蔵書・情報のアクセス構築、学生の学習の場としての業務を志向した。

(3) 武修館高等学校

高等学校は、釧根地区唯一の私立高校として、独自の伝統と校風に基づき、「地域から必要とされる私学」、「地域から期待される私学」を目指し、校訓「愛と奉仕に生きる」の精神に基づき「社会の良き形成者としての資質と教養を身につけるとともに、愛と奉仕に生きる人間を育成する」ことを目標に教育活動を展開してきた。

生徒、保護者及び地域の多様なニーズに応えるため、①生徒個々の興味・関心、進路に応じたきめ細かな教育を実現し社会に有益な人材の育成を目指した普通コース、②高度な競技力の習得とともに心身の育成を図り、将来のスポーツ振興の担い手やトップアスリートの育成を目指した体育コース、③併設中学校との6年間の教育により国公立大学及び難関私立大学への進学を目指した一貫コースの3コースを設置し、私学武修館でしか受けられない教育を展開している。また、入学者の多数を占める普通コースには、3系列（特進系、進学A系、進学B系）を導入し、完成年度を迎えた。

令和2年度は、感染症対策から多くの教育活動が実施が叶わなかった。

- ①3コースの目的に合った課外講習・長期休業中講習の実施。
 ②三大奉仕活動（市内一斉清掃・全国車いすマラソン・献血奉仕）をはじめとする奉仕活動の継続実施。
 ③地域にも定着した武修生の挨拶・礼儀の徹底。
 ④中卒者の減少期における生徒確保（魅力ある授業の構築と生徒に寄り添った指導の推進）多くの選択科目設置及びガイダンス機能を充実した教育課程の編成、混合クラス検証等。
 ⑤実践英語及び異文化理解を深めるため、ホームステイを柱としたオーストラリアでの語学研修の計画。
 ⑥漢検・英検・数検及び商業・情報系検定等の各種検定対策講座の充実・実施。
 ⑦職場見学（1年）、インターンシップ（2年）等によるキャリア教育の充実。
 ⑧進路実績 進学浪人8名（旭医大受験者等）、就職93.5%（87.5%）※（ ）前年度

| | 進学 | | | | | | 就職 | | | 未定 | 卒業数 |
|-----|------|------|------|------|------|----|-----|------|----|----|-----|
| | 国立大学 | 公立大学 | 私立大学 | 私立短大 | 専修各種 | 計 | 公務員 | 民間団体 | 計 | | |
| R02 | 5 | 2 | 50 | 9 | 27 | 93 | 6 | 23 | 29 | 10 | 132 |
| H31 | 3 | 0 | 30 | 13 | 41 | 87 | 9 | 40 | 49 | 8 | 144 |
| H30 | 6 | 0 | 36 | 6 | 15 | 63 | 3 | 20 | 23 | 0 | 87 |
| H29 | 3 | 5 | 32 | 9 | 18 | 67 | 2 | 23 | 25 | 7 | 97 |
| H28 | 1 | 3 | 28 | 2 | 17 | 51 | 6 | 22 | 28 | 9 | 88 |
| H27 | 4 | 5 | 26 | 3 | 11 | 49 | 5 | 15 | 20 | 8 | 77 |
| H26 | 2 | 3 | 27 | 6 | 13 | 51 | 5 | 26 | 31 | 13 | 88 |
| H25 | 3 | 2 | 20 | 5 | 31 | 61 | 9 | 26 | 35 | 4 | 100 |

国公立大学（北海道大学、金沢大学、広島大学、徳島大学、北見工業大学
釧路公立大学2名）

私立大学（早稲田大、同志社大、明治大、中央大、日大、東洋大、法政大
日体大、関西大、関西学院大、近畿大など）

公務員（刑務官、北海道警察、自衛官）

- ⑨就学支援制度の保護者への周知徹底による活用促進。
 （外部制度：就学支援金・授業料軽減・北海道高等学校奨学会・日本学生支援機構）
 （本校独自制度：兄弟姉妹授業料減免・経済支援奨学生）
 ⑩交通安全への意識醸成。（春の全国交通安全運動に伴う「5者合同出動式」への参加、外部専門家を招いての講演（中高合同）の実施）
 ⑪学校行事への保護者の支援・協力体制の構築とPTA活動の活性化。（校外研修へ

積極的参加、武窓祭・湿原強歩大会での協力、会員研修会の実施)

⑫経費節減運動の継続実施。

⑬特別外部広報チームを軸とした生徒募集の強化。新入生101名の確保)

⑭校内研修や教育内容の検証を通じた教職員の意識改革。

⑮主要行事報告

4月 9日 第57回入学式 (121名)

4月17日 市内一斉清掃奉仕活動 (三大奉仕活動・中高合同)

4月18日～5月31日 国・北海道の要請による臨時休業(学習サポートシステム、分散登校)

8月25日 第1回中学校進路担当者説明会(教員21名参加)

8月29日 第1回オープンスクール (生徒127名参加)

10月16日 第2回中学校進路担当者説明会(教員23名参加)

11月21日 第2回オープンスクール兼入試問題対策研究会(生徒115名参加)

1月15日 専願入学試験 (35名受験)

1月16日 推薦入学試験 (42名合格(昨年35名))

2月16日 一般学力入学試験 会場をしつげんの風アリーナに移し実施

3月 1日 第55回卒業式 (132名) 卒業生、保護者、教職員の参加 内容を短縮して実施

●感染症対策により中止になった行事

- ・ IRC・JRC加盟登録式 ・ 宿泊研修 ・ 武窓祭 ・ 車椅子マラソン応援ボランティア
- ・ 湿原強歩大会 ・ 体育祭 ・ 一貫：語学研修 ・ 見学旅行 ・ 献血奉仕活動

(4) 武修館中学校

中学校は、平成17年の開校以来、道東唯一の私立併設型中高一貫校として6年間の教育を通じ、校訓「愛と奉仕に生きる」に基づいた「高い知性と豊かな心を持ち国際感覚豊かな生徒の育成」を目指した計画的な高度の教育活動を展開してきた。中高の接続をスムーズに「生徒個々が課題解決や目標実現に向けて、自ら考え、自ら行動し、解決するすなどの力の育成」に努めている。

これらのことを実現すべく以下の教育活動を重点的に計画したが、感染症対策により実施が叶わなかったことも多い。

①異文化理解の深化と英語力の向上を図るため、長期アメリカ留学及び貿易会社勤務経験のある時間講師(臨時免許)の採用。

②大学入試改革への対応と語学学習の充実に向けた中学校及び高校での見学旅行を1本化し、高校1年次に2週間の語学研修への移行。

③大学受験予備校模擬試験の全学年受験の実施。(進路意識の啓発・向上)

④学習理解を深めるための個別指導の強化。

⑤自主性を重んじた課外学習の実施。(火・木7時間目、英数国の実施)

⑥漢検・数検・英検の上位級合格を目指した講習の充実・実施。

⑦本校の三大ボランティア活動を中心とした奉仕活動の継続。

(市内一斉清掃、車いすマラソンの他に地域高齢者とのふれあい)

⑧体づくりを目指した体育的行事の充実。(中高合同体育祭及びスケート教室の実施)

⑨キャリア教育の充実・実施。(職場体験等)

⑩経費節減運動の継続実施。

⑪主要行事報告

4月 9日 第16回入学式 (12名) 中高入学生、保護者各家庭原則1名、教職員の参加で実施

4月17日 市内一斉清掃奉仕活動

(三大奉仕活動・コロナ禍のため時間短縮、中高合同)

- 4月18日～5月31日 国・北海道の要請による臨時休業
 5月18日(月)、22日(金)、25日(月)、29日(金) 4時間の分散登校を実施
 ・JRC加盟登録式(5月17日予定)の中止
 6月1日 学校再開 漢字・英単語テスト(5月7日予定)の実施
 6月8日～19日 40分授業で1日8時間授業を実施
 7月21日 学力推移調査①…4月25日実施予定
 7月31日～8月17日 夏季休業(18日間に短縮)
 9月5日 第1回オープンスクール(児童10名、保護者11名参加)…6月29日実施予定
 9月24日 学力推移調査②
 10月10日 推薦入学試験(10名合格、入学者9名)…8月18日実施予定
 11月7日 第2回オープンスクール、入試問題研究会(児童13名、保護者15名参加)
 12月2日～4日 宿泊研修(1年)研修地:川湯温泉
 感染諸対策:引率教員1名増…6月12日～14日実施予定
 12月9日 進路講話 講師:株マルカツ吉田新聞店専務取締役 吉田勝幸 氏
 12月14日 学力入学試験(4名合格)
 3月13日 第14回卒業式(8名)生徒・教職員のみ参加、内容縮小
- 感染症対策により中止になった行事
- ・JRC加盟登録式
 - ・職場体験
 - ・武窓祭
 - ・車椅子マラソン応援ボランティア
 - ・札幌夏季合宿講習
 - ・遠足
 - ・体育祭
 - ・地域高齢者との交流ボランティア
 - ・スケート教室

(5) 釧路短期大学附属幼稚園

- ①基本方針(教育目標)
- i) 明るく元気に遊ぶ子ども
 - ii) 素直で優しい子ども
 - iii) 最後までやりぬく子ども
- ※3つの教育目標を達成するため、教職員は日々の保育を計画し実践する
- ◎子ども達の遊びを応援する幼稚園
 ◎小学校への継続を踏まえた保育を行い、卒園後も見守る幼稚園
- ※2つの方針のもと、日々の保育を計画的に進めていく
- ②令和2年度事業の特色
- i) 各クラス2名以上の職員による設定保育と全職員による自由遊びの充実
 - ii) 幼小連携の継続と強化
 - iii) コロナウイルスの感染予防のため卒園児お泊まり会は実施できなかったが、卒園児への支援
 - iv) 子育て支援(未就園児クラス カンガルークラブの充実)
 - v) 子育て支援事業の開始(親子で集うさくらんぼクラブ・子育て相談の充実)
 - vi) ふぞく祭(バザー)の継続による地域開放・保護者との連携
 - vii) 固定遊具の定期点検による安全確保と衛生意識の向上
 - viii) 幼稚園型認定こども園として長時間の預かり保育に配慮した運営
 - ix) 一時預かり事業初年度の運営
- ③通常事業
- i) 体験重視の保育内容＝園外保育の拡大
 - ii) 釧路短期大学との連携
 - iii) 預かり保育の充実＝働く保護者の支援
 - iv) 保育を必要とする園児(2号)の長時間保育の充実
 - v) スケート保育＝地域性を生かした保育
 - vi) 祖父母交流会の開催
 - vii) 学校評価・自己評価の充実

- viii) コロナウイルスの感染予防に配慮しながら行事の充実
- ix) 父母会との連携協力・父さんズの活動（コロナウイルスの感染予防のため、例年通りにできない行事があった。）
- x) 小・中・高校生の見学・職場体験の受け入れ
- xi) ケース会議や担任・副担任交替など、子ども達を複数で見守り支援する取り組み
- xii) 若手教員の育成と、園内・園外での研修の推進

④職員数及び園児数（2021. 3. 31）

| | | 令和2年度 | 令和元年度 | 平成30年度 |
|-----|----------|-------|-------|--------|
| 職員数 | 園長 | 1 | 1 | 1 |
| | 教員 | 10 | 9 | 9 |
| | 教員【パート】 | 5 | 5 | 4 |
| | 職員 | 0 | 0 | 0 |
| | 職員【パート】 | 4 | 4 | 3 |
| 園児数 | 5歳児 | 25 | 21 | 31 |
| | 4歳児 | 25 | 25 | 24 |
| | 3歳児 | 25 | 25 | 28 |
| | 満3歳児 | 4 | 3 | 2 |
| | 計 | 79 | 74 | 85 |
| | カンガルークラブ | 18 | 18 | 19 |

3. 財務の概要

(事業活動収支計算書)

(単位：千円)

| | | H30年度 | R元年度 | R2年度 | 備 考 |
|---------------|------|---------|---------|----------|-----|
| 教育活動収支 | 収 入 | 711,979 | 739,867 | 775,466 | |
| | 支 出 | 696,781 | 743,710 | 768,425 | |
| | 収支差額 | 15,198 | △ 3,843 | 7,041 | |
| 教育活動外収支 | 収 入 | 23 | 22 | 17 | |
| | 支 出 | 919 | 908 | 765 | |
| | 収支差額 | △ 896 | △ 886 | △ 748 | |
| 経常収支差額 | | 14,302 | △ 4,729 | 6,293 | |
| 特別収支 | 収 入 | 175,004 | 4,434 | 4,553 | |
| | 支 出 | 3,823 | 0 | 0 | |
| | 収支差額 | 171,181 | 4,434 | 4,553 | |
| 基本金組入前当年度収支差額 | | 185,483 | △ 295 | 10,846 | |
| 基本金組入額 | | 122,683 | 4,894 | 23,640 | |
| 当年度収支差額 | | 62,800 | △ 5,189 | △ 12,794 | |
| 人件費総額 | | 450,435 | 526,407 | 535,166 | |
| 補助金総額 | | 487,972 | 334,069 | 362,982 | |
| 借入金期末残高 | | 266,260 | 250,050 | 220,840 | |
| 翌年度繰越支払資金 | | 357,917 | 559,286 | 586,659 | |
| 学生・生徒数 (人) | | 697 | 699 | 639 | |
| | | 教65、職33 | 教70、職35 | 教67、職33 | |